

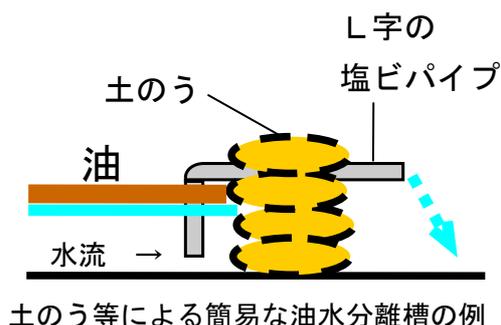
15 漏えい事故に備えて

危険物の漏えい事故が起きた時、被害を小さくするには迅速な危険物の回収が不可欠です。危険物を回収するための資機材を用意しておけば、万が一漏えいがあったときに素早く対応することができます。

また、常に使えるように訓練しておくことも大切です。

1 必要な資機材

- ① オイルマット、油吸着剤
(路面、側溝等の油の回収用)
- ② ひしゃく、空のドラム缶
(油水分離槽、側溝等の油回収用)
- ③ 土のう
(側溝等での油堰き止め用)
- ④ L字の塩ビパイプ
(土のうと組み合わせて、簡易な油水分離槽作成用)



土のう等による簡易な油水分離槽の例

2 県内の事故事例

- ① 一般取扱所において灯油約1,830リットルが漏えいした際、作業員がオイルマット等の保管場所を把握しておらず、また、漏えい油の回収作業をしなかったため、被害が拡大した。(H18)
- ② 屋内タンク貯蔵所においてA重油約1,200リットルが漏えいした際、危険物取扱者が現場に到着する1時間の間、漏えい油の回収作業をしなかったため、被害が拡大した。(H18)

3 油回収の費用等

灯油200リットルが水路に流出した場合の回収費用例

10～100万円

(内訳) 油回収費：1.5万円～2.3万円/m³

車両費：2～5万円/4t車

※流出した時間、河川の状況、危険物の性状等により、回収費用は更に高くなる場合があります。

※河川管理者等への補償費用は含まれていません。

※事故時には、消防機関への通報も忘れずに行いましょう。